

奥多摩日原 岳嶺岩ボルダー

2016.3.23 rctK

昔、岳嶺岩の開拓整備をした頃、河原にあったボルダーで遊んでいたが、一段落してからは足が遠のいてしまった。その後、日原奥のボルダーをトライし始めた頃、久しぶりに訪れたが、河原のボルダーにはチョーク跡があり、ここもボルダリングの対象として捉えられていることを知った。その後何回か訪れ遊んだが、ここではその中のほんの一部のみを紹介したい。他の課題については、上流側 G 岩は、昔私がトライしていた頃はハング下が水面でトライできなかったため、他の方が先に登られたことや、対岸の R 岩は、他の方が課題を設定していることなどから、それらの課題については先にトライした方からの情報提供を待ちたい。



岳嶺岩の A 峰から E 峰までの側壁などにも課題が設定されており、ある意味、今の感覚では、岳嶺岩自体もハイボルダーとして捉えることができ、一部のショーとラインについては、ボルダリングの対象になるのではないだろうか。

岩質は石灰岩とチャートが混在している。谷底にあり、上流側の河原のボルダーは雨後の乾きが早い、下流側の岳嶺岩周辺は乾きが悪く苔に覆われてきている。最後に訪れた何年か前には、台風の影響で、流木などが多量に溜まっているところがあったので、ボルダーによっては下地が悪いところがあると思われる。

アクセスは車利用が基本。奥多摩から日原街道に入り、日原の集落を過ぎて暫く行くと、左側にトイレがある。車はその先にちょっとスペースがあって止められるが、釣り師なども停めるので、通行の邪魔にならないように。止められない場合は、他にもスペースが無きにしても非ずだが、あまり勝手に停めずに、日原の集落に入って直ぐの所にある日原鍾乳洞臨時駐車場(無料)に置くと良い。そこから徒歩で1kmちょっとである。

アプローチは、トイレの少し手前から谷に降りていく道があるが、トイレの所からも降りられる。

◎なお、この岳嶺岩の上流に何か所かボルダーがあるが、私がトライした後、台風の大雨による土石流で、他のボルダラーの方の課題も含めて壊滅的な被害を受けてしまった。全てではないが、ボルダーの状況が変貌し、巨大なボルダーが流されたり、埋まってしまったりした。その後はまた新たな課題が設定されて現在に至るが、その後、私は訪れていないので、ここから日原川上流部のボルダーに関しては情報提供を控えたい。

●O 岩上流側

リップを左上するラインとハングの SD 課題がある。夏場は湿っていることが多く、苔が付しやすい。

下流側にも課題があるが、あまり面白味はない。



●E 峰洞窟

川側にある洞窟の中から入口のスリング(スパスポネームでプロテクションとして使う)までの課題。課題名「闇からの脱出」



●F岩

トイレから降りていく途中、右にある前傾フェイスの岩。

中央の赤ラインが面白いが、マットを利用すれば、新しいハードな課題も思い切ってトライできそう。

